

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地		
専門学校麻生工科 自動車大学校		平成20年3月31日	野見山 秀樹	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-8-28 (電話) 092-433-0634		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999			
目的	自動車技術の高度化が進む中、常に新しい情報を取り入れ、認証工場の整備主任者としての責務を果たせることを目的とし、国家二級ガソリン自動車整備士、国家二級ジーゼル自動車整備士、国家二級二輪自動車整備士を養成する。					
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業	工業専門課程	2級自動車整備科	平成22年文部科学大臣告示第30号		—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1890	634	0	1256	0
						単位時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
270人	222人	12人	10人	22人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う			
長期休み	■学年始:4月1日～4月11日 ■夏季:8月3日～9月13日 ■冬季:12月22日～1月11日 ■学年末:1月30日～3月31日	卒業・進級条件	履修すべき全授業科目に合格していること。出席日数が出席すべき日数の90%以上であること。国土交通省の定める規定の時間を満たしていること。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 補講の実施、休学、留年	課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車ディーラー、自動車整備業界 ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 97.3 % ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年4月1日 時点の情報)	主な資格・検定等	2級ガソリン自動車整備士 2級ジーゼル自動車整備士			
中途退学の現状	■中途退学者 20 名 平成27年5月1日 在学者 226 名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 212 名 (平成28年3月 卒業者を含む) (内6名転入) ■中途退学の主な理由 学習意欲の喪失、単位未取得、出席不良 ■中退防止のための取組 学生ガイダンス実施マニュアルに沿った細かな面談の実施					
ホームページ	http://www.asojuku.ac.jp/acet/					

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省の指針に合わせ、社団法人日本自動車整備振興会連合会発行の最新の自動車整備士養成課程教科書「三級自動車整備士」「二級自動車整備士」の内容にあわせ、整備業界で即戦力として活躍できる整備士としての基礎をしっかりと学び、二年間で二級自動車整備士(ガソリン・ジーゼル)を目指していく。また、新しい電子制御機構や現在の整備作業の傾向に合わせ、基礎実習はもとより、正しい診断技術をも含めた整備及び検査ができる力をつけることを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業および教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
岸原 武志	一般社団法人 福岡県自動車整備振興会 指導部長
江崎 雅弘	福岡トヨタ自動車株式会社 執行役員総務部長
坂口 哲也	福岡トヨタ自動車株式会社 サービス部長
野見山 秀樹	専門学校 麻生工科自動車大学校 校長
安部 優太朗	専門学校 麻生工科自動車大学校 校長代行
小串 浩之	専門学校 麻生工科自動車大学校 校長代行補佐
永江 貴史	専門学校 麻生工科自動車大学校 主任
小金丸 清	専門学校 麻生工科自動車大学校 教員

(開催日時)

平成27年度

第1回 平成27年6月25日 15:20～15:40

第2回 平成27年12月9日 19:00～21:00

平成28年度

第1回 平成28年6月23日 19:00～21:00

第2回 平成28年9月2日 19:00～21:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

現在の整備作業の傾向に合わせ、基礎技術を中心に基づき整備内容を実施

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エンジン整備実習 I	エンジン点検、分解、組立、調整、検査	クレモント

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

研修は、教職員に対して、現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識または技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
江崎 雅弘	福岡トヨタ自動車株式会社 執行役員総務部長
坂口 哲也	福岡トヨタ自動車株式会社 サービス部長
下西 明	ダイハツ工業株式会社 理事
時松 真秀子	平成23年度卒業生
杉本 誠	平成22年度卒業生
林 紀子	保護者
村上 伸二	東比恵2丁目町内会
大和 豊	筑紫台高等学校 校長
下村 輝夫	ものづくり人材育成センター 顧問

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_acet.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: (麻生塾) <http://www.asojuku.ac.jp>

(専門学校麻生工科自動車大学校) <http://asojuku.ac.jp/acet/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 2 級自動車整備科) 平成 28 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習	実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			基礎自動車整備	整備の基礎知識、基本作業、測定作業、点検用機械工具	1通	32	2	○			○	○	○	○	
○			基礎工学	エンジン、シャシ、電気装置、二輪自動車	1通	31	2	○			○	○	○		
○			エンジン構造	エンジン本体、潤滑装置、冷却装置燃料装置、吸排気装置、電気装置	1通	62	4	○			○	○			
○			ジーゼルエンジン構造	エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置、電気装置	1後	31	2	○			○	○	○		
○			シャシ構造	動力伝達、アクスル、サスペンション、ステアリング装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー	1通	77	5	○			○	○	○		
○			電装構造	電気回路、オームの法則、電気、電子についての基礎、半導体、バッテリ、始動装置、充電装置、点火装置	1通	63	4	○			○	○			
○			材料・燃料・油脂	自動車に使われている材料についての種類、性質、特性、燃料、油脂の内容、潤滑及び潤滑油、作動油の内容	1後	15	1	○			○	○			
○			数学 I	単位、基礎的な原理・法則、自動車の諸元、電気の基礎	1後	18	1	○			○	○			
○			数学 II	単位、高度な原理・法則、自動車の諸元、電気の応用(応用編)	2前	16	1	○			○	○			
○			法規・検査 I	道路運送車両法、道路運送車両の保安基準、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示	1後	16	1	○			○	○	○		
○			法規・検査 II	道路運送車両法、道路運送車両の保安基準、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示	2通	33	2	○			○	○	○		

○		ガソリンエンジン	エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置、電気装置、故障原因探求	2 通	65	4	○			○	○		
○		ジーゼルエンジン	エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置、電気装置、故障原因探求	2 通	47	3	○			○	○	○	
○		シャシ	動力伝達、アクスル、サスペンション、ステアリング装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー、故障原因探求	2 通	64	4	○			○	○	○	
○		電装	エンジン、シャシ電気装置、始動装置、充電装置、点火装置、故障原因探求	2 通	64	4	○			○	○		
○		基礎実習	手仕上げ工作、機械工作、基本測定実習	1 前	70	1				○	○	○	
○		エンジン整備実習 I	エンジン本体、燃料装置、吸排気装置、冷却装置	1 通	188	4				○	○	○	○
○		シャシ整備実習 I	動力伝達装置、アクスル及びサスペンション、ステアリング装置、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー	1 通	187	4				○	○	○	
○		電装整備実習 I	始動装置、充電装置、点火装置、電子制御装置、灯火装置、計器、ホーン、ワイパ、ウォッシャ、エアコン、電気装置の配線	1 通	185	4				○	○	○	
○		エンジン整備実習 II	エンジン本体、燃料装置、吸排気装置、冷却装置	2 通	173	4				○	○	○	○
○		シャシ整備実習 II	動力伝達装置、アクスル及びサスペンション、ステアリング装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー	2 通	158	3				○	○	○	
○		電装整備実習 II	半導体、バッテリ、始動装置、充電装置、点火装置、電子制御装置、灯火装置、計器、ホーン、ワイパ、ウォッシャ、エアコン、電気装置の配線	2 通	173	4				○	○	○	
○		故障原因探求	ガソリンエンジン故障原因探求、ジーゼルエンジン故障原因探求、シャシ故障原因探求、電装故障原因探求	2 後	62	1				○	○	○	○
○		自動車検査作業	道路運送車両法等の改正の概要、定期点検の実施時期、点検整備記録簿、自動車メーカーが指定する点検整備	2 後	60	1				○	○	○	
合計				24	科目	1890	単位時間(66	単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
(卒業用件)履修すべき全授業科目に合格していること。出席日数が出席すべき日数の90%以上であること。国土交通省の定める規定の時間を満たしていること。(履修方法)各授業科目の総授業時間数の3分の2以上出席し、C評価以上の評価を取得することで、当該科目を履修したことを認める。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。